

プログラム

ショートコース会場： 文部科学省研究交流センター
国際会議場

2010年 12月1日(水) 午後

ショートコース (司会：池羽田晶文)

13:30-15:00 **I-01** 基礎編：原理とスペクトル解析法の基礎
(東農工大院) ○高柳正夫

15:00-15:30 休憩

15:30-17:00 **I-02** 応用編：活用と得られる情報
(農生資研) ○宮澤光博

18:00-18:45 幹事会

19:00-20:00 理事会 (場所：グランドホテル東雲)

第 26 回近赤外フォーラム実行委員会

実行委員

会長 河野澄夫 (農研機構 食品総合研究所)
幹事 宮澤光博 (農業生物資源研究所)
幹事 高柳正夫 (東京農工大学大学院)
監事 関口礼司 (日本食品分析センター)
監事 千葉 実 (日本穀物検定協会)
事務局長 土川 覚 (名古屋大学)
事務局員 池羽田晶文 (農研機構 食品総合研究所)
Sirinapa Saranwong (農研機構 食品総合研究所)

アドバイザー委員会

岩元睦夫 (農林水産先端技術産業振興センター)
的場輝佳 (関西福祉科学大学)
尾崎幸洋 (関西学院大学)

協力委員

中村博美 (農研機構 食品総合研究所)
梅原仁美 (農研機構 食品総合研究所)

事務局

〒305-8642 茨城県つくば市観音台 2-1-12
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所
非破壊評価ユニット気付
近赤外研究会事務局
TEL: 029-838-8088 FAX: 029-838-7996
E-mail: jcnirs@naro.affrc.go.jp

文部科学省研究交流センター
口頭発表会場：国際会議場
ポスター発表／機器展示会場：第 2 会議室

一般講演：講演 12 分、質疑応答 2 分、交代 1 分
企業プレゼンテーション：講演 9 分、質疑なし、交代 1 分

2010年 12月2日(木) 午前

- 09:00-09:05 会長挨拶
- 09:05-09:15 Karl Norris Award 授賞式 (司会：土川覚)
- 09:15-09:55 Karl Norris Award 受賞講演 (座長：河野澄夫)
K-01 Does theory help in practice in analysis by near infrared spectroscopy?
(Scottish Agricultural College, Aberdeen, UK)
○Ian Murray
- 09:55-10:25 基調講演 (座長：土川覚)
K-02 Process Analytical Technology in the Pharmaceutical Industry:
Expanding the Concept and Practice to other Industries
(The School of Pharmacy, University of London, UK)
○A.C. Moffat
- 10:25-10:55 特別講演 (座長：土川覚)
K-03 Hand-Held Spectrometers: The Future of In-Situ Chemical Quality
Control by Vibrational Spectroscopy?
(Department of Physical Chemistry, University of Duisburg-Essen, Germany)
Lars Herberholz, Sedakat Altinpinar, and ○Heinz W. Siesler
-
- 10:55-11:10 休憩・ポスター掲載
- 11:10-11:50 ポスター発表 A(奇数番号)
- 11:50-13:00 昼食

2010年 12月2日(木) 午後

- 13:10-15:20 ・企業プレゼンテーション(13社) _____
 プログラムは○ページ参照。 (座長:1~6 池羽田晶文、7~13 千葉実)
 ・企業展示(第2会議室)
- 15:20-15:30 休憩
- _____ 農業・食品セッション _____ (座長:吉田誠)
- 15:30-16:00 招待講演
I-03 ヤンマー光センサーの事例紹介ー近赤外分光法を利用したイチゴ選果システム、サクランボ選果機の実用化
 (ヤンマーグリーンシステム(株)) ○山田久也
- 16:00-16:15 **O-01** コーヒー生豆一粒単位の近赤外スペクトルを用いた品質評価
 (¹東京理科大学大学院基礎工学研究科、²石光商事(株))
 ○高島正人¹、兵藤 宏¹、石脇智広²、曾我公平¹
- 16:15-15:30 **O-02** 近赤外分光法によるサイレージ中の揮発性塩基態窒素(VBN)の測定
 (雪印種苗株式会社 研究開発本部) ○篠田英史、三浦俊治、古川 修
- 16:30-16:45 **O-03** NIR Imaging to Detect Fruit Fly in Intact Mangoes
 (¹National Food Research Institute, ²USDA-ARS-WRRC, ³KAPI, Kasetsart University)
 ○Sirinnapa Saranwong,¹ Ron Haff,² Warunee Thanapase,³ Sumio Kawano¹
-
- 16:45-17:00 近赤外研究会総会 (どなたでも参加できます)
- 17:30- 懇親会 会場:ホテルグランド東雲 (司会:土川覚)

2010年 12月3日(金) 午前

9:00-9:10 NIR Advance Award 授賞式 (司会・座長:関口礼司)

NIR Advance Award 受賞講演

9:10-9:30 **I-04** 近赤外分光法を応用した木材非破壊検査装置の開発
(北海道立総合研究機構林産試験場) ○藤本高明

9:30-9:50 **I-05** 近赤外分光法を活用した各種堆肥の品質評価
(三重県工業研究所 医薬品・食品研究課) ○藤原孝之

9:50-10:20 特別講演

K-04 生物環境の向上を目指した近赤外分光法研究の展開
(韓国 慶北大学) ○趙 来光

10:20-10:50 企業展示(第2会議室)

製薬・製剤・メディカルセッション (座長:宮澤光博)

10:50-11:20 招待講演

I-06 可視・近赤外分光法の医学領域への利用:感染症研究を中心に
(琉球大学医学部保健学科生体代謝学) ○作道章一

11:20-11:35 **O-04** 近赤外分光法を用いた非侵襲血糖値測定装置の開発及びグリセミック・インデックス測定への応用

(¹筑波大院生命環境、²株WACCORD、³(独)農研機構 食総研)
○上平安紘^{1,2}、足立憲彦²、池羽田晶文³、河野澄夫^{1,3}

11:35-12:15 ポスター発表 B(偶数番号)

12:15-13:30 昼食

2010年 12月3日(金) 午後

化学・工学セッション 1 (座長:魚住純)

13:30-14:00 招待講演

I-07 新しい近赤外イメージング法を用いた皮下出血観察装置の開発
(JFEテクニクス株式会社) ○市川文彦、松林三郎、川相吉弘、守屋 進

14:00-14:15 **O-05** 高感度近赤外フォトランジスタ

(アイアールスペック株式会社) ○小倉睦郎、西田克彦

14:15-14:30 **O-06** 赤外/近赤外一体型分析計を用いたアルコール発酵のモニタリング

(¹関西学院大学理工学部、²横河電機株式会社)
○源川拓磨¹、渡 正博^{1,2}、佐藤光恵²、今田三樹子¹、尾崎幸洋¹

14:30-14:45 **O-07** 近赤外分析計を用いた気液両相高速分析-石油化学プロセスへの適用-

(¹横河電機(株)科学機器技術Gr、²横河電機(株)科学機器営業Gr、³Yokogawa Electric Korea Co.Ltd.、⁴Yokogawa Europe B.V.)
○田中秀子¹、大原寿樹²、柳 恵元³、Chris Hopkins⁴

14:45-15:00 休憩

2010年 12月3日(金) 午後 (続き)

化学・工学セッション 2 (座長:高柳正夫)

- 15:00-15:15 **O-08** 近赤外分光法を利用したマイクロ流路内水溶液の温度測定
(¹九州大学、²鳥取大学、³産業技術総合研究所、⁴電気通信大学)
○角田直人¹、福原悠子¹、近藤克哉²、有本英伸³、山田幸生⁴
- 15:15-15:30 **O-09** 振動分光法によるモンモリロナイトの膨潤過程の分析
(産業技術総合研究所 計測フロンティア研究部門) ○新澤英之
- 15:30-15:45 **O-10** 希土類錯体の近赤外発光を利用したアミノ酸のセンシング
(¹大阪市立大学大学院理学研究科、²JST CREST)
○篠田哲史^{1,2}、矢野径子¹、築部 浩^{1,2}
- 15:45-16:00 **O-11** NIR を用いたペットボトル内液体検査技術
(¹大阪大学大学院 基礎工学研究科、²㈱クボタ)
○糸崎秀夫¹、赤羽英夫¹、城谷 大¹、松下耕司¹、森本 進²

-
- 16:00-16:15 Best Poster Award 発表・事務連絡
解散